

# 入社前日に内定取り消し

静岡、19人

09.4.3A

静岡市清水区三保の造船会社「カナサシ重工」（片上久

志社長）が、4月入社予定だった新卒者19人の採用内定を、入社前日の3月31日に取り消していたことがわかった。同社は、金融機関から3月末までに必要だった融資を受けられなかったとして、1日から操業を停止。「入社しても給料を支払える見込みがない」と説明している。内定を取り消されたのは、大卒7人、高卒12人。同社は3月31日、主力銀行から融資

約10億円を受けられなかったとして操業停止を決定。4月1日に入社式を迎えるはずだった新卒者19人に対し、31日午後から電話で内定取り消しを伝えるとともに、1日までに同社の担当者が直接会って説明したとしている。同社によると、19人は大半が地元静岡市の高校、大学出身者。非常に落胆した様子だったという。同社は「採用したとしても、法的整理手続き

をすることになったら解雇しなければならなくなる。内定を取り消した方がよいと判断した」と説明。「融資が実現し、操業再開できれば優先して採用したい」としている。厚生労働省の発表によると、今春の就職予定者のうち内定を取り消された大学生や高校生は1845人で、取り消した企業は404社に上る。職業安定法は、採用内定の取り消しを同一年度内に10人以上行ったうえで、次の就職先確保の支援が不十分だった場合には、事業所名を公表すると定めている。